

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成24年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	9件	和歌山県税条例の一部を改正する条例 等	同意
人事案件(//)	4件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて 等	可決
その他案件(//)	7件	関西広域連合規約の一部の変更について 等	承認
知事専決処分報告(//)	2件	和歌山県税条例の一部を改正する条例 等	承認
意見書・決議	13件	尖閣諸島をはじめ我が国の領土及び領海を守る体制整備を求める意見書	可決
		地方の道路整備のための財源確保を求める意見書	
		地方財政の充実・強化を求める意見書	
		登記の事務・権限等の地方への移譲に反対する意見書	
		中小企業等が加入する健康保険の保険料負担の軽減を求める意見書	
		「障害者総合支援法」に関する意見書	
		再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書	
		「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	
		東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理の推進等に関する決議	
栄養教諭配置促進にかかる決議	否決		
非核三原則の早期法制化を求める意見書 他2件	否決		



県議会初代議長 濱口梧陵 像

教育

PTA事務の適正化

問 監査委員の指摘により、県費で賄うべき非常勤職員の見金や施設の修繕費がPTA会費から支出されていたことが判明したが、実態に即し、校長や教員等がPTAの事務を手伝えるようにすべきではないか。

答 PTA活動は保護者と学校職員が一体となって行うものであり、PTAの会計業務については、学校がPTAから委任を受けた上で校長が学校職員に命じた公務であると考えている。そのため、関係規則の中に新たに業務委任について規定し、その位置づけを明確化していく。



エネルギー

大飯原発再稼働への評価と原発に対する考え

問 知事は、野田首相の大飯原発再稼働表明を評価したいなどと述べたが、どこをどう評価するのか。また、関西広域連合において、知事として原発をどのように位置づけてかわっていくのか。

答 大飯原発の再稼働については、国民生活を守るという観点から動かすべきだと判断したことは適当と認識している。関西広域連合のエネルギー検討会においても「関西における中長期的なエネルギー政策の考え方」を検討することになっており、その中で、原発への過度な依存を見直し、新たなエネルギー社会の構築等を十分議論していくということに参加していく。

通学路の安全対策

問 4月に京都府亀岡市で登校中の児童の列に車が突っ込むという事故があった。県内でも、登下校中の交通事故件数は平成22年度84件、平成23年度71件と多いが、通学路の安全対策は。

答 通学路の安全対策については、教職員をはじめ安全ボランティアによる登下校時の通学路における見守り活動を充実させるよう働きかけるなど、積極的に取り組んできた。また、亀岡市の事故を受け、文部科学省より通学路の安全対策について関係者が緊急に合同点検するよう依頼があり、県教育委員会は、学校、警察、道路管理者、保護者等が連携して危険箇所を抽出したり、必要対策を検討するよう市町村教育委員会、県立学校に通知した。

電力の安定供給

問 電力不足は今夏だけの問題でなく、いつ停電するかわからないという発展途上国並みの電力事情が今後も何年間か続く。電力の安定供給のために何をすべきか。

答 安定した電力供給のために、安全性を確認した上で当面は原子力に頼らざるを得ない。リスク管理などすべての要素を含め、どのような組み合わせが量的、質的に安定して供給できるかが重要であり、政府はこれらを踏まえ、ぶれないで国民に説明する必要がある。秋以降の安定供給については、情報を十分に収集・分析し、必要な時点で適切に判断し、行動していく必要がある。

ダンス必修化に伴う曲の選定

問 今年度より中学校でダンスが必修化されたが、ふるさとにゆかりのある曲でダンスに取り組むことは、ふるさとを愛し、誇りを持ち、きずなを深める大きな効果を生み出すが、どう考えるか。

答 ふるさと教育の観点から、生徒がふるさと和歌山を愛し、きずなが深まるような郷土ゆかりの曲を積極的に取り入れるよう、各市町村教育委員会や学校に指導していく。体育祭では、ぶんだらや紀州よさこいを踊ると盛り上がり一体感が出るので、そういう意味で、運動を通して子どもたちがきずなを深め、お互いを大事にし、励まし合うきっかけになればと考えている。

バス

JR御坊駅の早期バリアフリー化

問 御坊駅は、日高地方の玄関口で、通勤・通学にとっても重要な駅である。電車とホームの段差解消、エレベーターの設置など、一刻も早いバリアフリー化をJR西日本に働きかけてほしい。

答 1日に3500人余の乗降客がある上、乗り継ぎでの利用も大変多く、地域の拠点駅として改修の必要性を認識している。平成27年には国体や全国障害者スポーツ大会も開催されるので、御坊市とも連携しながら、早期のバリアフリー化をJR西日本に働きかけていきたい。



地域ひろ

「あらぎ島」を生かした地域ひろ

問 第19回全国棚田サミットが来年初、あらぎ島を中心に有田川町で開催されることとなり、宿泊棟や体験施設などの整備も進められている。県にも各分野連携した積極的な支援を求めたい。

答 あらぎ島の景観は国内外に誇り得る重要な地域資源であり、県内初の重要な文化的景観に選定されれば、地域の活性化に大きな起爆剤となる。全国棚田サミットの誘致は、地域の方々の生活や歴史文化を実感してもらえ、絶好のチャンスなので、地域の動きにも積極的に参加しながら、地域資源の活用にも目を向けて、持続的な広がりのある立派な地域をつくってきたい。



消費税増税問題

問 野田内閣は何が何でも増税を押し通そうとしている。県経済と県民の暮らしに大きな影響を及ぼす消費税増税に対しては、中止を求めるべきではないか。

答 社会保障制度を維持するための改革は必要で、そのために最後の財源である消費税を充てることは理解できる。ただ、最後の財源であるからこそ、国民の十分な理解が大切である。また、増税する場合は、経済状況の好転施策、低所得者対策、適正な価格転嫁への取組等の対策が適正になされるべきである。